

第61回日本図書館情報学会 研究大会シンポジウム

これからの図書館情報学教育を考える

2013年10月13日(日)
東京大学

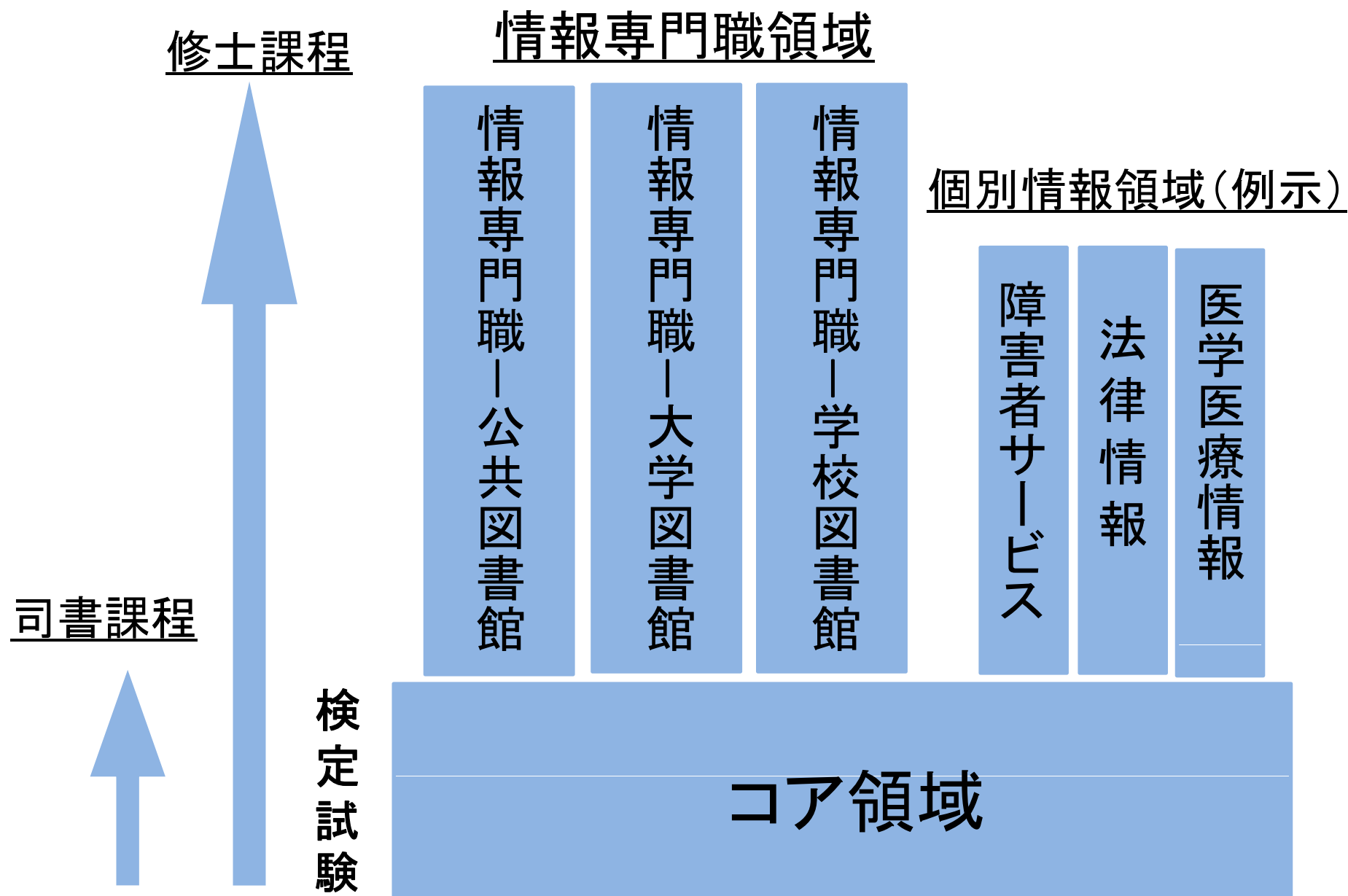
JSLIS創立50周年記念シンポジウム

- 2003年10月26日(日)
 - テーマ:これからの図書館情報学研究と教育
 - パネリスト
 - 上田修一(慶應義塾大学)
 - 植松貞夫(筑波大学)
 - 三浦逸雄(東京大学)
 - コメンテーター
 - 根本彰(東京大学)
 - 司会
 - 田村俊作(慶應義塾大学)
 - 岸田和明(駿河台大学)
- * 所属は当時のもの

学会メンバーが中心となった研究活動

- 科学研究費補助金による研究活動
- 2003～2006
 - 情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究(LIPER1)
- 2006～2010
 - 情報専門職養成をめざした図書館情報学教育の再編成(LIPER2)
- 2010～2014
 - 図書館情報学教育を高度化するための研究基盤形成(LIPER3)

情報専門職養成のカリキュラム案



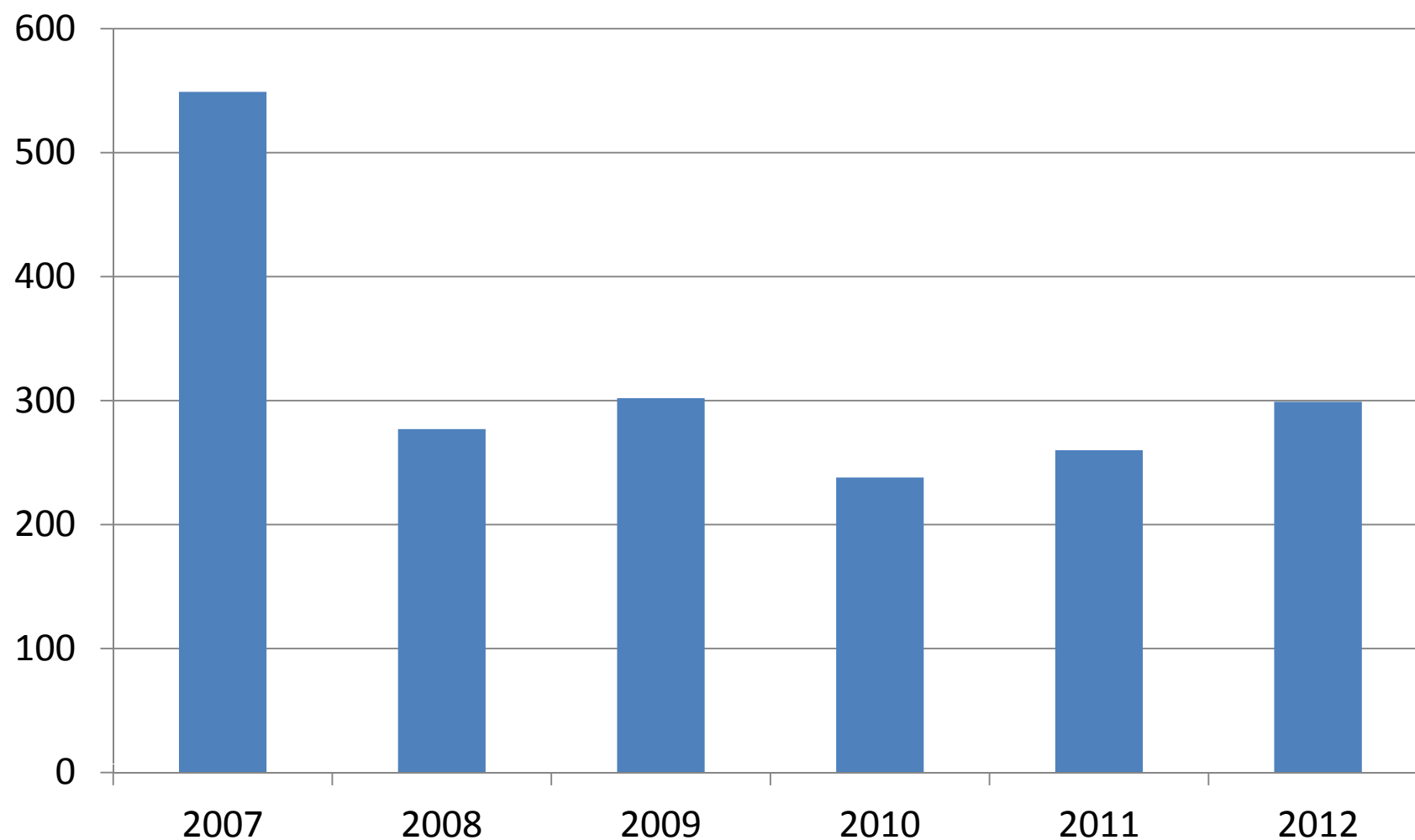
図書館情報学のコア領域

- 図書館情報学基礎
- 情報利用者
- 情報資源組織化
- 情報メディア
- 情報サービス
- 情報システム
- 経営管理
- デジタル情報

図書館情報学検定試験

- 提言内容
 1. 情報専門職の教育は大学院レベルの図書館情報学の専門教育であるべきこと
 2. 図書館情報学カリキュラムのコア領域を明らかにし、司書課程においては当面このコア領域を学ぶものとする
 3. 資格に求められる専門的知識の一定の水準を維持するために検定試験の実施を検討すること
- 2007年度から準備試験を実施
- 2010年度からは公開制

図書館情報学検定試験受験者数



本日の趣旨

- LIPER報告で指摘された問題
 - 図書館情報学教育が館種別に分散している
 - 教育の中心が司書養成のための司書課程である
 - 学部専門教育、大学院修士課程での教育が広く行われていない
 - 教育を受けたもの（特に司書有資格者）の就職の問題
- 本日の趣旨
 - 現在の図書館情報学教育における問題を共有すること
 - 今後、図書館情報学教育について、学会としての活動の方向性について議論すること

日本の専門職養成に関するシンポジウム

- 2013年3月16日(土)
- テーマ
 - 日本の専門職養成の構造からみた図書館専門職養成の検討
- 内容
 - 日本の専門職の構造について(橋本鉦市)
 - 司書の成立過程・現状(松本直樹)
 - 管理栄養士の成立過程・現状(鈴木道子)
 - 臨床心理士の成立過程・現状(丸山和昭)
 - 3資格の比較について(根本彰)

本日の観点

日本

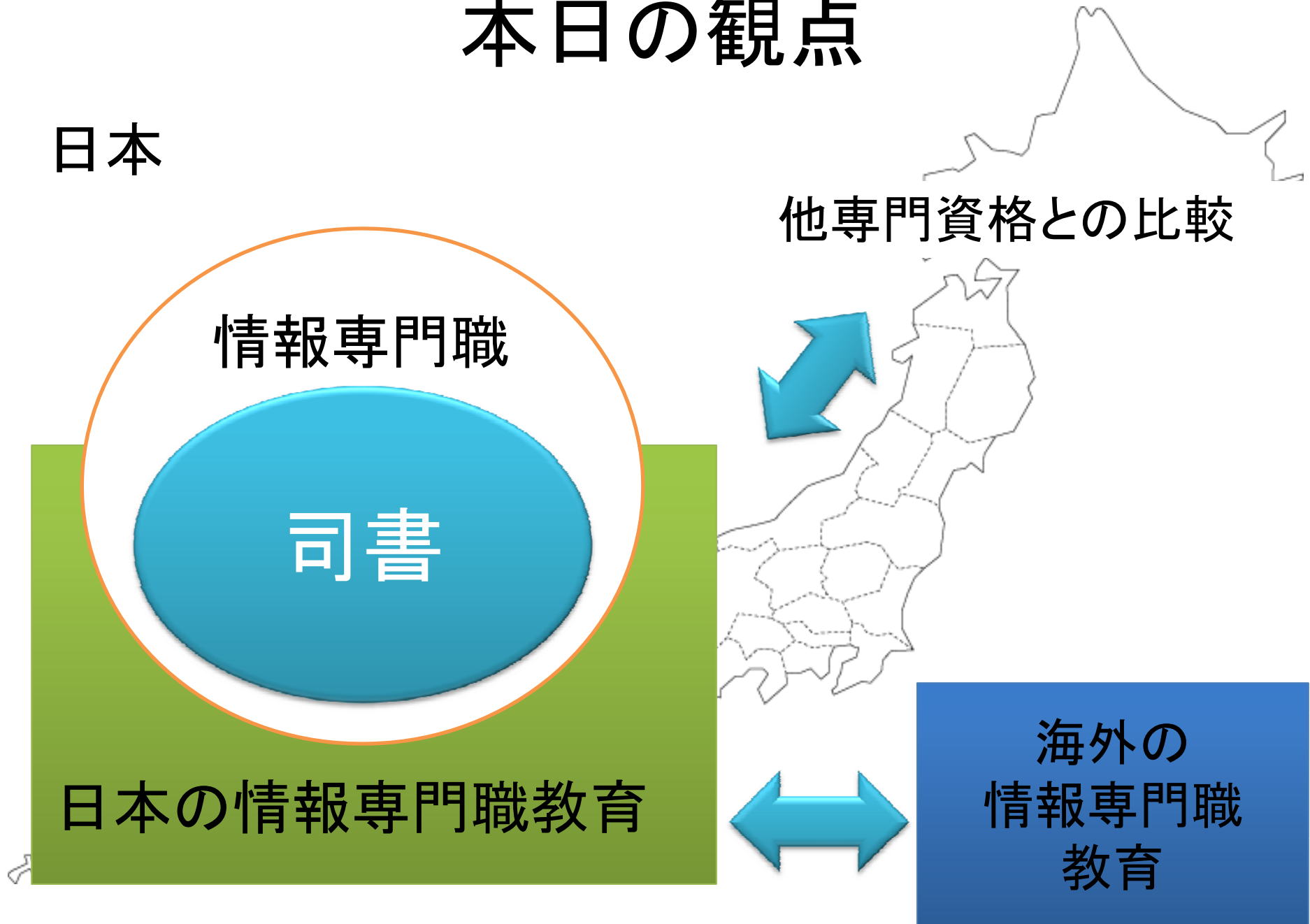
情報専門職

司書

日本の情報専門職教育

他専門資格との比較

海外の
情報専門職
教育



スケジュール

- 14:40～14:50
 - 概要説明(石田栄美)
- 14:50～15:10
 - 日本の図書館関連資格に関する歴史的経緯と文部科学省の動向(大谷康晴)
- 15:10～15:30
 - 司書資格との比較を通して見た管理栄養士制度成立の特徴(青柳英治)
- 15:30～15:50
 - 海外の図書館情報学教育の動向(三輪眞木子)
- 15:50～16:00
 - 休憩
- 16:00～17:00
 - 議論(コメンテーター: 下田尊久、酒井由紀子)